

Ⅱ－２．【オフィス情報学科：卒業生向け】キャリアに関するアンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) アンケート調査の目的

本学オフィス情報学科を卒業した学生の現状を把握するとともに、キャリアに対する考え・意識を把握することを目的とする。

さらに、本学を卒業し社会に出た立場である卒業生から大学生生活を振り返る意見を収集することで、今後の学生指導の参考とする。

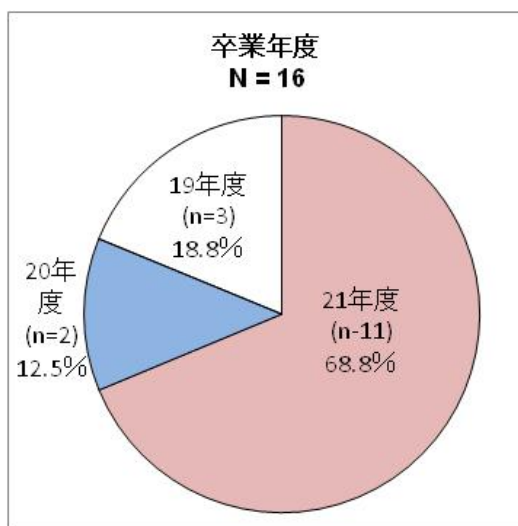
(2) アンケート調査の期間

平成 22 年 8 月 27 日（金） ～ 平成 22 年 9 月 24 日（金）

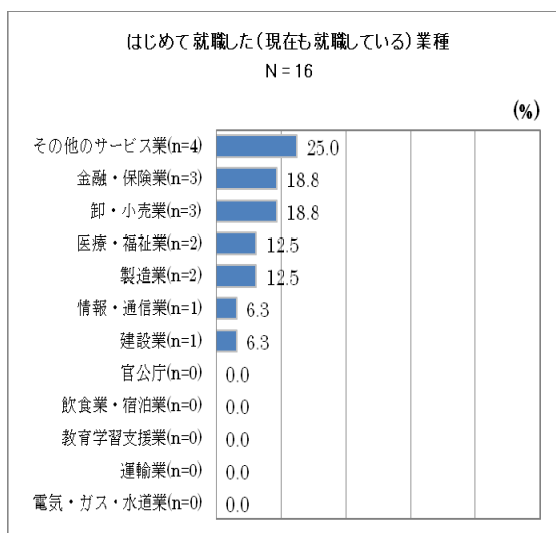
(3) 調査対象

本学オフィス情報学科を平成 20 年 3 月以降に卒業した卒業生

< 卒業年度 >



< 業種 >



(4) 配布方法

メール便にてアンケート票を発送し、郵便にて回収

有効発送先数 135 先

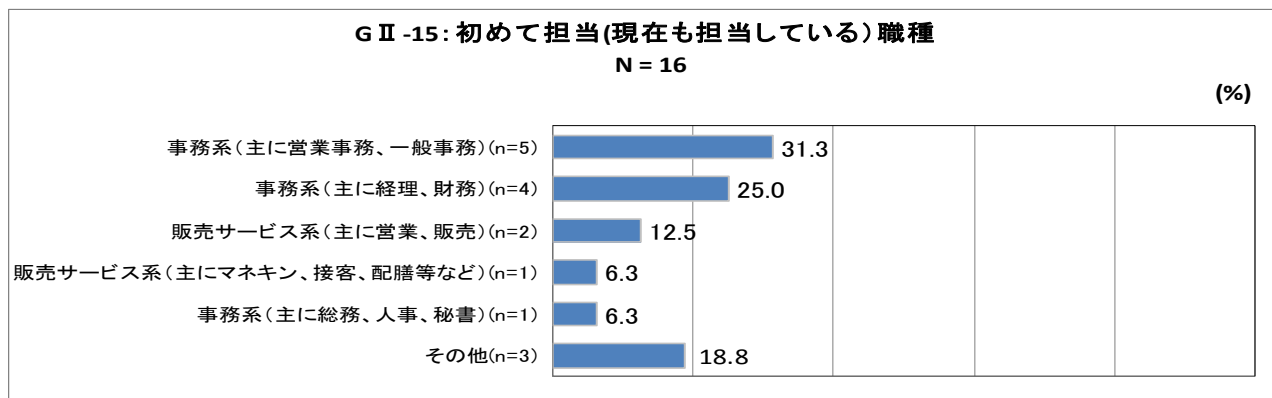
有効回答先数 16 先

回答率 11.9%

2. 調査結果

(1) 卒業後、初めて担当した（あるいは現在も担当している）職種について

本学を卒業後、初めて担当した（あるいは現在も担当している）職種は、事務系のなかでも主に営業事務、一般事務を担当している学生の回答比率が 31.3%（前年調査 68.2%）、次いで事務系で主に経理、財務を担当している学生が 25.0%（同 4.5%）などであり、前年調査に比べると担当職種にバラつきがうかがえる属性となっている（参照：GⅡ-15）。

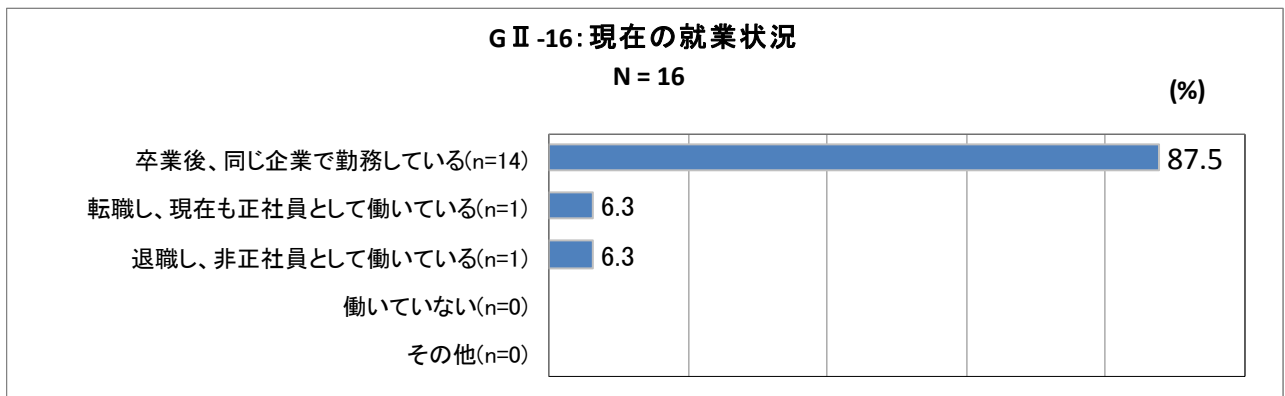


担当業務の具体的内容の記述

- ・ 新規口座作り、出納担当、窓口。
- ・ 銀行の預金係（為替預金）。
- ・ 資金運用（有価証券の売買等）。取引報告および信用事業月次決算。運営方針の決定。有価証券を売買した際の稟議書作成。
- ・ 教室に来て下さった生徒様への PC 操作の指導や POP 作成、試験監督。
- ・ パソコン（excel）を使った資料の作成。旅費などの処理。事務用品や雑費の管理、購入依頼。決裁書のファイリング・整理。電話対応。
- ・ パソコンでの受発注や、伝票入力。電話対応。
- ・ 検査、手術介助、診察介助、会計、受付、医療事務、電話対応など。
- ・ 販売、接客。
- ・ 歯科助手。
- ・ 総務で事務作業。主には、情報配信システムを使用して、様々な情報を配信している。
- ・ 会議の資料作成、現場の事務処理の最終処理。データ処理など。
- ・ 顧客の業務運用（アウトソーシング）、プログラムの作成と修正。
- ・ 自動車の運転。受付（接客、電話対応）。
- ・ 会員管理や会員さんへの指導。
- ・ お客様への請求書の発行・担当営業に確認後送付。お客様からの銀行振込などの入金をパソコンへ入力。解体工事の注文書→請書を返送。持込の廃棄物・砕石販売などの売上計上など。

(2) 現在の就業状況について

卒業生の現在の就業状況は、有効回答者である16名のうち14名(87.5%)は卒業後も同じ企業で勤務を続けており、1名(6.3%)が転職を経験した後、転職先で現在も正社員として働いている結果となったため93.7%の卒業生が現在も正社員として就業し続けている(参照：GⅡ-16)。

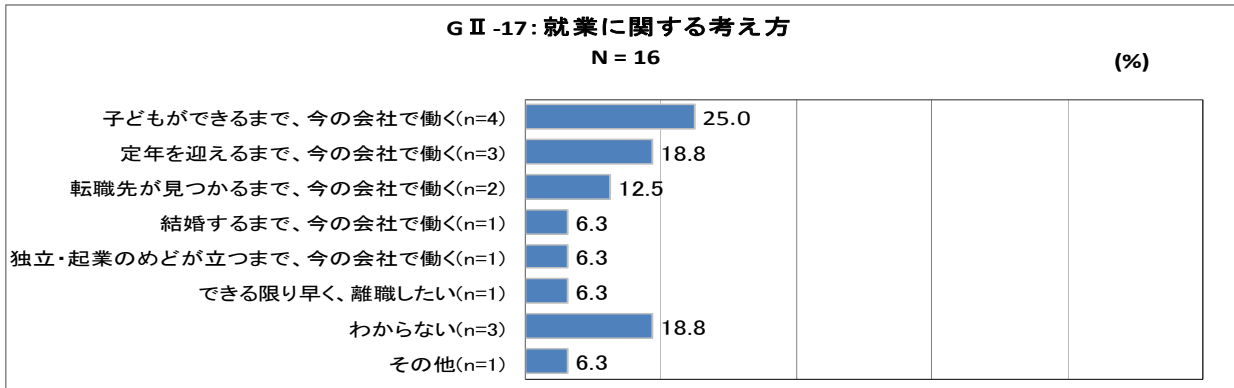


転職を経験した学生の離職した理由は、「給与への不満」、「職場内人間関係への不満」を共通にあげている。そのほか、「休暇・休日への不満」、「仕事内容への不満」など、就職活動中に入手可能と思われる情報を離職理由にあげる卒業生があったこと、「仕事についていけなかった」と回答した卒業生もあったため、さらなる在学中の十分な指導・教育が必要である。また、「会社側の都合(倒産、人員削減など)」で離職せざるをえなかった卒業生も見られた。

カテゴリ	(除不)%
給与への不満	100.0
職場内人間関係への不満	100.0
休暇・休日への不満	50.0
仕事内容への不満	50.0
経営方針への不満	50.0
出産・育児・介護	50.0
会社の将来性への不安	50.0
仕事についていけなかった	50.0
会社側の都合(倒産、人員削減など)	50.0
その他	100.0

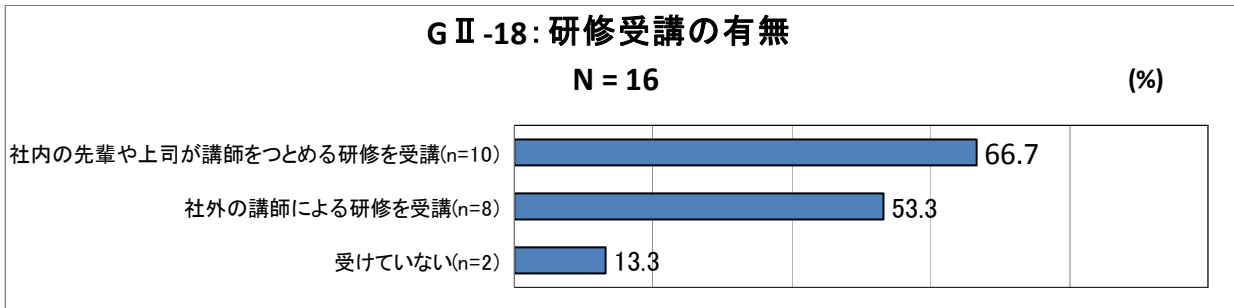
(3) 就業に関する意識について

卒業生の就業に関する意識は、「定年を迎えるまで、今の会社で働く」と考えている比率は18.8%であった。最も比率が高いのは「子どもができるまで、今の会社で働く」で25.0%であった。前年調査で最も比率が高かった「結婚するまで、今の会社で働く」は6.3%（前年調査33.3%）であった（参照：GⅡ-17）。



(4) 社員研修について

就職後、社員研修を受けた比率は86.7%（前回調査86.4%）と高いものの、13.3%に相当する2名は社員研修を受講していない実態がある。社員研修を実施している企業の多くでは、社内講師による研修と社外講師による研修を組み合わせる実施しているが（参照：GⅡ-18）、前回調査時点では、社内講師による研修は72.7%で社外講師による研修は63.6%で実施されていたことから、ともに減少傾向にある様子がうかがえる。



卒業生が入社後に受講した社員研修の具体的内容は、次の通りである。

社員研修で受講した研修内容の具体的記述

- ・ コンプライアンスなど今の会社（就職先）についてなど。
- ・ 会社概要。現場見学。スタンドのしくみ。商品の講習会。
- ・ 電話対応、講座内容、料金、イベントなどの進め方。会社の理念、指導方法。
- ・ 県外の宿泊施設に泊まり込み、上司から出た課題をグループで取り組んだり、社外の講師の方からビジネスマナー関係や声出しなどを教わったりした。
- ・ 会社のことや礼儀、ビジネスマナーなど本当に細かくたくさん研修を受けました。

- 3週間、本社へ行き、会社について、ビジネスマナーについて、などを教わった。
- 社外講師から、ビジネスマナー研修や、接客・来客・電話応対など教わった。
- 社外講師からビジネスマナー、プログラムの研修を先輩から受けました。
- 短大で実際に行なったような、ビジネスマナーやコミュニケーションについて。
- 組織のあり方等について研修。パソコンや簿記について研修。
- 電話応対、敬語の使用方法、会社のこと。
- 電話応対、礼、言葉遣い等のマナー研修。法務研修。オペレーション研修。生命保険、損害保険対策研修。預金業務研修。融資業務研修。
- 前の会社では、証券会社に働いていました。時間を左右する仕事だったので、ミスをすることなく正確に処理をできるように担当業務に応じて丁寧に学びました。あと、お客様の対応、言葉使いです。今の会社は窓口を中心としています。言葉遣いはもちろん、引き受けた処理は、何でもできるように研修も何度でもあります。
- 窓口研修 ビジネスマナーの基本、CS とは窓口対応、電話対応の演習。
- 宿泊研修（新人研修） CS とはビジネスマナーについて、電話対応・来客対応の演習、組合が取扱っている商品について。
- 共済基礎知識研修 生命・年金・医療系・建築共済について。
- 資格認証試験の為の研修や、証券会社主催の研修やセミナー等で公社債などの基礎知識を学んだ。
- 薬品会社の方が講師を務める、患者様との接し方などを教わった。

(5) 在学中に取得しておけば良かったと思う資格・検定、勉強しておけば良かったことについて

<取得しておけば良かったと思う資格・検定>

- ・ ワープロ・表計算
- ・ ワープロ検定初段
- ・ excel の資格
- ・ MOS 検定を習得しておけばよかった (Word、Excel)
- ・ 医療事務とシスアドを取得しておけば良かったです。
- ・ 秘書検定準一級
- ・ 漢字検定準一級
- ・ TOEIC
- ・ FP 技能士検定
- ・ 証券外務員検定
- ・ 生保、損保
- ・ 法務 3 級

<勉強しておけば良かったこと>

- ・ シスアドを真面目に勉強しておけばよかった。
- ・ ネットワークについての知識をもっとつけておけば良かった
- ・ Access をもう少しわかるように指導してほしかった。
- ・ もっとまじめに、簿記、事務のことをあいておけば良かった。

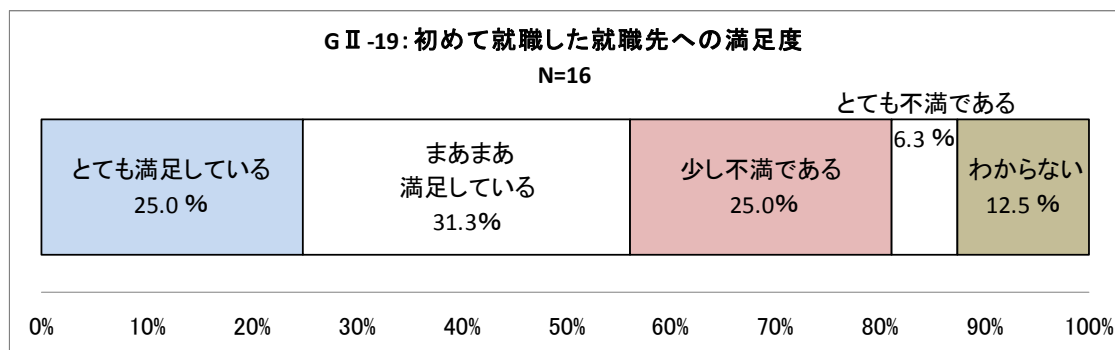
<その他の記述>

- ・ 実務で役立つ勉強をもっと指導してほしかった。

(6) 卒業後、初めて就職した企業への満足度について

卒業後、初めて就職した企業への満足度については、「とても満足している」と「まあまあ満足している」との合計比率は56.3%（9人）で、「少し不満である」と「とても不満である」との合計比率は31.3%（5人）となった（参照：GⅡ-19）。

満足に感じている理由には、人間関係や通勤など勤務するに当たっての環境に恵まれたことにより満足感を得ている記述が多い。一方、不満足に感じている理由は、職種への不満や会社方針があげられている。



<満足している理由の具体的記述>

- ・ 今のこの不景気に職に就いていること自体、有難いと思っています。また、今の会社で新しい自分を見つけられたことにとっても満足しています。
- ・ いろいろな人と接することができるから。
- ・ 人が多くて面白い。同じ悩みを持つ人もいれば考え方の違いを教えてくれる人もいるから自分が成長できる。嫌なときも沢山ある。
- ・ 会社のみんなが優しく環境がいい。
- ・ 職場の環境がとても良い。
- ・ 教育がきちんとされる。人間関係が良い。同期が多い。交通が良い。
- ・ 通勤しやすい距離と職場のなごやかな雰囲気。責任はあるが、達成感・やりがいのある仕事など。
- ・ まだ人間関係がそんなに悪くない。むしろいい方。ただ、結構きつい仕事だし、拘束時間も長いので最近わりに合わない気もしてきた。

<不満足である理由の具体的記述>

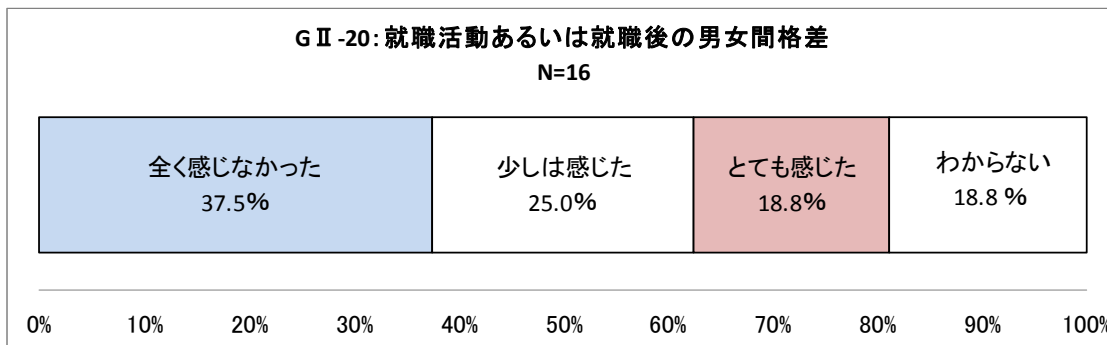
- ・ 会社の売上も好調で、労働条件や勤務地、人間関係においては大変満足しているが、業務内容である「自動車の運転」が向いてないと思いとて辛い。
- ・ 自分の希望する売場に配属されていないため。
- ・ 不景気で会社の状況が変わってしまい、グループ会社に転籍になり、会社の方針が合わないため。
- ・ 現在はA会社の孫会社に就職し、そこから派遣社員として働いている。私たちの会社の方が給料も高く嬉しい限りではあるが、結局は6年という契約の為に、この先少し不安があったりする。現在の部署は、コミュニケーションもととてもよく、毎日が楽しい。仕事も自分にあっており出来れば正社員になり定年までこの会社で働きたいと今は思う。

(7)男女格差について

就職活動時から入社後に至るまでに、男女格差を感じたかについては、「全く感じなかった」と回答している学生が37.5%（参照：GⅡ-20）で最も多いが、前回調査（50.0%）に比べると比率は大幅に下降した。

しかし、男女格差を「少しは感じた」あるいは「とても感じた」卒業生の具体的記述には、就職活動時に関するものは見当たらず、入社後に感じた格差の記述のみである。

具体的記述には、下の通りである。



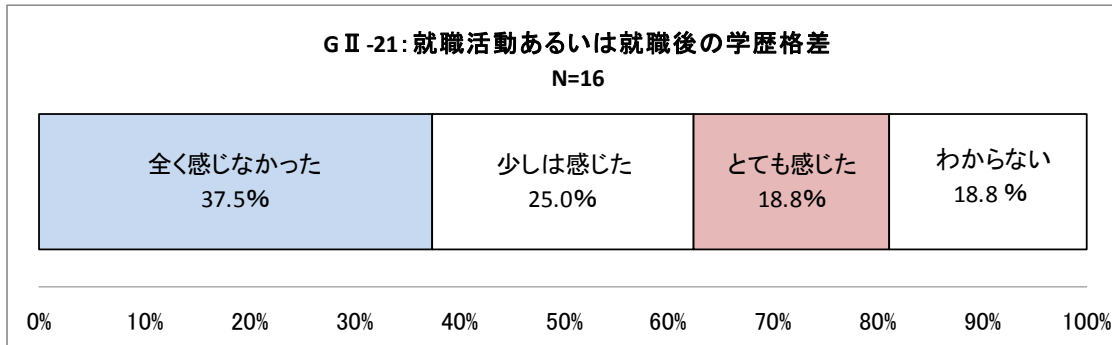
<男女格差を感じた時の具体的記述>

- ・ 「女だからよかったものの・・・」と上司からの一言。女でなく男だったらどうなっていたのか知りたくなった。
- ・ 男性のほうが昇格しやすいと感じた。
- ・ 給料の上がり方の差や仕事内容
- ・ 仕事柄、男の方にやってもらわないと難しい事とかたくさんあるので。
- ・ 男性社員と女性社員では扱われ方が全く違う。女性社員は偉い役職の方々に何かと優遇され優しくしてもらえる。男性社員には厳しい。

(8) 学歴格差について

就職活動時から入社後に至るまでに、学歴格差を感じたかについては、「全く感じなかった」比率は37.5%、「とても感じた」あるいは「少しは感じた」卒業生は43.8%であった（参照：参照：GⅡ-21）。

学歴格差を感じた卒業生の具体的記述には、就職活動中に学歴格差を感じた具体的記述は見受けられず、入社後に給与面で学歴格差を感じたとする記述が多かった。



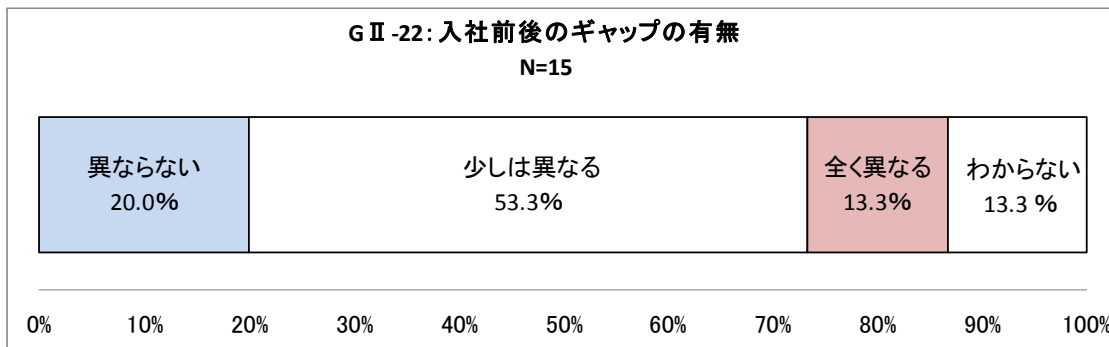
<学歴格差を感じた時の具体的記述>

- ・ 給料が違う
- ・ 良い学校を卒業している人は、考えが深いから人が考えつかないことをし、すごいと思った。それにより、上司の見方が違うと思った。
- ・ 同期が大学卒業生ばかりで、院生もいました。
- ・ 1つの問題にぶちあたったとき。

(9) 入社前後のギャップの有無について

卒業後、初めて就職した（あるいは現在も勤務している）企業に対して、入社前と後では印象が異なっただけについては、「異なる」比率は20.0%に止まり、「全く異なる」あるいは「少しは異なる」と回答した卒業生は66.6%に達した（参照：GⅡ-22）。

しかし、異なると回答した具体的記述をみると、「入社前の印象に比べ入社後の印象の方が良かった」と感じている卒業生の記述も含まれている。

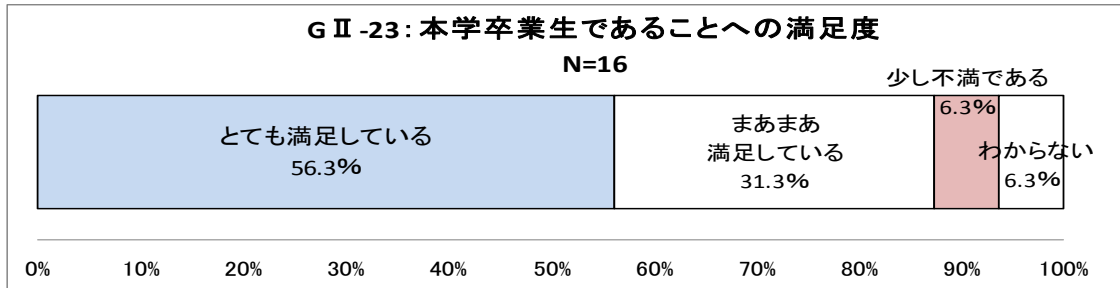


<入社前後のギャップを感じた時の具体的記述>

- ・会社の将来性が非常に不安です。出産後仕事復帰できる環境ではない。
- ・結構ハードな仕事だけど、そういう細かい内容まで知らなかったから。月の課題が出るとは予想外だった。
- ・全店舗の人が優しくて思いやりがある。
- ・面接できびしいことを言われたのに、かなり優しい人達ばかり。
- ・もっとカタイ印象があったが、全てがそういうわけではなかった。
- ・もっと堅苦しい所だと思っていた。
- ・労働時間、仕事の量。
- ・スキルの差が激しい。

(10) 高田短期大学の卒業生であることへの満足度について

高田短期大学の卒業生であることへの満足度については、「とても満足している」と回答した卒業生が56.3%で前回調査の50.0%を上回った。「少し不満である」あるいは「わからない」と回答した卒業生がそれぞれ6.3%あったものの、「不満足であると」評価した卒業生は一人もいない結果となった(参照:GⅡ-23)。



満足に感じる具体的記述には、高田短期大学で学んだスキルが活かしていること、教員の親身な指導、充実した学園生活を送ることができたことなどがあげられている。一方、実践に即した指導を望む声や高田短期大学に対する悪い評判に嘆く声もあった。

<高田短期大学の卒業生であることを満足に感じる具体的記述>

- ・ 今は資格とかとっても特に活用はしてないけど、いずれパソコン関係は絶対活用するのでよかったと思える。ビジネスマナーも、学べた点がすごくプラスだった。
- ・ いろんな資格をとることができた。マナーなどを学ぶことができた。
- ・ パソコンの基礎知識はとても必要だと感じた。また、ビジネスマナーもしっかり教わった。
- ・ 色んな資格がとれたし、色んなたくさんの友達ができた。
- ・ 教員が生徒1人ひとりのことを考えてくれ、親身になってくれる。この短大に入学・卒業できて本当に良かったと思う。
- ・ 就職する上で有利になる資格等をたくさん受けられる。勉強できる。キャリア支援室の先生方が一生懸命応援してくれる。
- ・ 卒業してから時間は、もう3年過ぎました。先生も卒業してもう現在は居ないのですが、卒業してからも仕事が不安ばかりの私は毎日のように心配してくださっていました。学校に在学中もつねに悩みも話しを聞いてくれて本当に良い先生に出会えたことです。再就職も無事できた時は、自分よりも先生がよろこんでくれて今ではお客様となって来てくださいました。大変な時が多くありましたが、現在では、本当に良い関係です。
- ・ 無理なく通えて勉強できた。就職への支援も充分にしてもらったと感じた。今の会社と同じような、どこかのんびりした雰囲気と適度な自由さは自分に合っていたと思う。
- ・ 自治会役員をやっている時は辛い事や大変なことも多かったけど2年間という短い期間だからこそ密度ある時間が過ごせたと思う。短い分勉強は大変だったけど楽しかった。
- ・ 友達との出会いに満足。ホームステイできたことに満足。給料が少ないので、大学を出れば良かったと思いました。

<高田短期大学の卒業生であることに関するその他の具体的記述>

- ・ 今、働いていて思うことが、もっと秘書のこと（実務）、PCならば仕事で活用できるような事を学びたかった。
- ・ 秘書の授業では、ただプリントで①～④の中で正しいものを…などのような授業だったが、実際に仕事でお茶出し一つにしても臨機応変に対応しなければいけない。「実務で役立つこと」を先生達は教えるべき。
- ・ 環境にも先生方にもめぐまれ高田短大には私はとても満足しています。しかし、卒業して会社に出て「高田短期大学」の世間の評判の悪さががっかりしました。2年前、受験生だった私が高短を論外としていたのもこの世間の目があったからです。丸2年たった今でも世間の目が変わっていないところに私は残念に思います。
- ・ 特に有名な学科でもないのに、満足感はない。もう少し、学生生活が楽しかったり、良い思い出があったりすれば満足していたと思う。